

第9回 腎臓・膀胱の働きについて

2014年1月15日(水) 18:00～19:30 信州大学松本キャンパス旭総合研究棟 講義室A・B

1. おしっこをつくる双子の腎臓:糸球体・尿細管・集合管
2. おしっこの色と量から自分の体の健康をさぐる
→ トイレが近いですか? → 夜、何回トイレに起きますか?
→ おしっこの色が赤かったり、黒かったりしませんか?
3. 1分間に100～120ml(1日で144l)のおしっこの源ができている
→ 1日の尿量は大体 1～1.5l (500mlは最低限)
4. おしっこの本当の量は脳細胞が作るホルモンで調節されている
→ “のどが渇く”と感じている時にこのホルモンが出ています
→ 年を取るとあまりのどが渇かなくなるって、ホント?
5. この尿量調節ホルモンの分泌は、血液の濃さ(浸透圧:塩と糖)で決められている
6. おしっこの色は肝臓の病気や発熱や脱水で変化してくる
7. 排尿反射って何だろう?
8. 排尿や排便反射は自分の意思でコントロールできる部分とできない部分がある
9. 尿道の長さは女性が短いので失禁を起こしやすい
男性は前立腺という抵抗が尿道の途中にある